

No	感染症(PT)	出典	概要
341	ウイルス感染	Emerg Infect Dis 2007; 13: 165-167	中国Hunan省で2005年11月3日から2006年4月3日に下部呼吸器感染で入院した10歳以下の小児の鼻咽腔吸引物を調べたところ、252検体中21例(8.3%)でヒトボカウイルス(HBoV)が検出された。VP1遺伝子の系統発生的分析の結果、世界中のHBoVの単一の遺伝的系統が示された。
342	ウイルス感染	Eurosurveillance Weekly Release 2007; 12(4)	ドイツでは牛痘はウシにおいてはここ何年か診断されていないが、ネコで感染が増加している。最近、動物飼育員の22歳の女性とネコを飼っている25歳の女性が牛痘と確定診断されたが、両者とも牛痘で死んだネコを世話していた。ここ2年間でドイツでは4名の患者が牛痘ウイルス陽性と診断され、ヒトの牛痘感染が増加している。ドイツでは1970年代に天然痘ワクチン接種が中止されたため、牛痘ウイルスに対する免疫を持つヒトの割合が小さくなったことを反映しているかもしれない。
343	ウイルス感染	Herald Sun online 2007年4月22日	オーストラリアVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を受けた3例が死亡した。当初、原因不明であったが、コロンビア大学の専門家の協力を得て、未知のウイルスが原因であることが明らかとなった。このウイルスは黄熱病、エボラおよびリンパ性脈絡髄膜炎の原因となるげっ歯類媒介アレンウイルス科に属していた。3例の移植患者すべての多数の検体からこのウイルスが検出された。臓器移植により伝播したと思われる。
344	ウイルス感染	IRIN 2007年9月25日	コンゴ共和国Likoula北部でサル痘が流行している。国立公衆衛生研究所の話では、62名が迅速検査で確定しているが、村民からの証言によると少なくとも150名が感染しているとのことである。患者の大部分は15歳以下の難民である。これは熱帯雨林諸国で見られる稀なウイルス性疾患であり、動物、特にサルの肉を処理する際の接触によって起こる。
345	ウイルス感染	J Clin Microbiol 2007; 45: 3008-3014	ヨーロッパでの出血熱は主にPuumalaウイルス(PUUV)またはDobravaウイルス感染による。ドイツ南東部Lower Bavariaでハンタウイルス感染患者31名について、酵素免疫測定法、免疫蛍光法、免疫ブロット法による診断を行った。標準的検査による抗体のPUUV特異的タイピングができない症例が2、3あった。3名の患者の急性期血清から得たPUUV RNAをRT-PCRを用いて増幅したところ、同地域で捕獲したハタネズミから得たウイルス配列と非常に近縁であることが明らかとなった。
346	ウイルス感染	J Med Virol 2007; 79: 393-400	コンゴ民主共和国において2000-2001年に急性弛緩性麻痺の小児138名から分離された186株についてタイピングを行った。89名の患者からの分離株は非ポリオ性エンテロウイルス型で、17名の患者は1つ以上のエンテロウイルスまたはアデノウイルスに感染していた。また、非典型的なエンテロウイルス分離株が高頻度に見られた。6名の患者からの分離株には新規のエンテロウイルス型が含まれ、HEV-Bに属するEV-93およびHEV-Dに属するEV-94と名づけられた。
347	ウイルス感染	J Med Virol 2008; 80: 365-371	定期的に輸血を受けるサラセミア患者で、Torque Teno virus (TTV)の有無を調べたところ、2-20歳の患者の約10%(118名中12名)がTTV陰性であった。フェリチン、ASTおよびALT値はTTV陽性群より陰性群の方が低かった。TTV-HCV共感染群ではフェリチンおよびALT値がTTV単独感染群より高かった。輸血による高頻度かつ継続的なTTV感染はサラセミア患者における肝機能障害と関連することが示唆された。
348	ウイルス感染	PLoS ONE 2007; 8: e764	マールブルグウイルスはヒトおよび霊長類において高致死率の出血熱アウトブレイクの原因となる。ガボンおよびコンゴ共和国の5つの地区から収集された10種1138匹のコウモリを調べたところ、ウイルス特異的RNAおよびIgG抗体により、フルーツコウモリの1種であるRousettus aegyptiacusにおいてのみマールブルグウイルス感染が確認された。非霊長類動物で自然感染が同定された初めての報告であり、アフリカのこの地域に同ウイルスが存在することを示す初の報告である。
349	ウイルス感染	PLoS Pathogens 2007; 3: e64	急性呼吸器感染症に罹った患者からの呼吸分泌物中に存在する新規のポリオーマウイルスを同定し、WUウイルスと名付けた。WUウイルス遺伝子は5229bpで、Polyomaviridaeファミリーの特徴を持つ。系統遺伝学的分析から、このWUウイルスは、既知の全てのポリオーマウイルスとは異なっていることが明白となった。オーストラリア及び米国の急性呼吸器感染症患者2135例中43例からWUウイルスが検出された。
350	ウイルス感染	PRNewswire 2007年4月21日	コロンビア大学Mailman School of Public HealthのGreene感染症研究所の科学者らによって、オーストラリアのVictoriaで、一人のドナーから臓器移植を受けた3例が死亡した原因である新規のウイルスが発見された。このウイルスはリンパ性脈絡髄膜炎ウイルスと近縁であったが、既存のスクリーニング法では検出されなかった。迅速シーケンシング技術とGreene研究所によって開発されたパイオインフォマティクスアルゴリズムによって解明された。
351	ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci 2007; 104: 11424-11429	マレーシアMelakaで高熱と急性呼吸器疾患に罹っていた39歳男性から未知のreovirusが分離され、Melaka virusと名づけられた。患者の家族も発症したが、彼らは発症前にコウモリと接触していた。遺伝子配列分析により、同ウイルスは同国Tioman島のフルーツコウモリから分離されたPulauウイルスと近縁であることが示された。同島住民は109例中14例(13%)が両ウイルスに陽性であった。Orthoreovirusがヒトの急性呼吸器疾患と関係があることが初めて示された。